



わんよう

腕用ポンプ

(一宮町教育委員会所蔵)

【明治時代～ 明治 31 年(1898)製造】

このポンプは旧八積村宮原（現一宮町宮原）^{きゅうやつみむらみやばら げんいちのみやまちみやばら}地域^{ちいき}で使用^{しよう}されていたポンプです。ホース等^{とうふぞくひん}附属品^{のこ}は残されていません。

両側^{りょうがわ}の先端^{せんたん}にある穴^{あな}に棒^{ぼう}が通り、両側^{りょうがわ}に3人^{にん}ずつがシーソーのように互い^{たが}違い^{ちが}に動か^{うご}すことによつて水^{みず}を吸^すい上げたり、出^だすことができます。火事^{かじ}になるとこのポンプを大八車^{だいはちぐるま}で近く^{ちか}の川^{かわ}や池^{いけ}へもつていき、こいで水^{みず}をくみ上げながら消火^{しょうか}しました。

